

[ここに入力]

カメルーン通信



No.6 2018年度1次隊 小学校教育 飛田梨圭 とびたりか

●アフリカのお祭り

今年も気が付けば残り一か月を切りました。年々1年が過ぎるのが早くなっているような気がします。年末になるとクリスマスに大晦日、お正月とイベントが目白押しかと思えます。イベントといえば最近私が住んでいる街でもお祭りがありました。普通お祭りというと1年に一度あると思えます。ですが、ここカメルーンではお祭りといえば2年に一度が一般的だそうです。この国には275以上の民族がいるのでこの地区に住んでいる代表的な5つの民族が集まってそれぞれの伝統的なダンスや音楽を披露していました。会場にはお土産さん、レストラン、舞台や展示物など様々なものがありとても楽しいものでした。今回はカメルーンのお祭りの様子について紹介したいと思います。



左の家の写真はCASE（カーズ）と呼ばれる村の伝統的な建物。民族によって少しずつ形が違います。今でも村に行くとこのような建物で暮らしている人がいるそうです。



プチシェフェリー。各村にはシェフェリーと呼ばれる村長がいます。お祭りのときに村長は写真のような恰好をして出席するそうです。

家の中の様子♪



火おこし場



食べ物を
すりつぶす台



ベッド



CASE その②地域によって少しずつ形が違うそうです。

葉っぱで顔や人を描いてあります。



お祭り会場の写真。奥に写っているのが入口です。入口の柱に葉っぱアートがありました。



お土産屋さん。アフリカの民間療法。写真に写っている木の皮、実、葉っぱを薬にして病気がけがを治療するそうです。



伝統的なアフリカン衣装で記念撮影！暑いのになぜか毛糸の服でした。ちなみに左の男性は私の友達です。



会場のレストランでご飯。アフリカの家庭料理であるレギューム（写真左）とクスクスマイス（写真右）を頂きました。

それではまた次回 オウ ルボワー Au revoir!(訳: さようなら)